

# 追加機能について

---

## ユーザーズガイド

# もくじ

本書について .....	もくじ-2
--------------	-------

## 1 いろいろな追加機能

1.1	Windows 用プリンタードライバーのインストールについて .....	1-2
	インストール手順（ネットワーク接続の場合） .....	1-2
	インストール手順（USB 接続の場合） .....	1-3
1.2	ファクスドライバーのインストールについて .....	1-5
	インストール手順（ネットワーク接続の場合） .....	1-5
	インストール手順（USB 接続の場合） .....	1-6
1.3	Windows 用プリンタードライバー／ファクスドライバーの削除について .....	1-8
1.4	macOS 10.13 用プリンタードライバーについて .....	1-8
1.5	初期値の変更について .....	1-9
1.6	Web ブラウザー機能について .....	1-9
1.6.1	Web ブラウザーの仕様 .....	1-9
1.6.2	Web ブラウザー機能でできなくなったこと .....	1-10
1.7	キーボードを選択する .....	1-10
1.8	ボックス文書のダウンロード時間を短縮する .....	1-10
1.9	共有ボックスの SMB フォルダー内文書を削除する .....	1-11

## 2 ユーザーズガイドの記載訂正／変更について

2.1	【プリント】での訂正 .....	2-2
2.2	NFC 認証導入時の制約事項 .....	2-2
2.3	ライセンス文について .....	2-2



---

## 本書について

本書は、新たに追加または変更された本機の機能について記載しています。

---

# 1

## いろいろな追加機能

# 1 いろいろな追加機能

## 1.1 Windows 用プリンタードライバーのインストールについて

新たな機能が追加された本機では、プリンタードライバーのインストール手順に変更があります。インストーラーを使ってプリンタードライバーをインストールするときは、以下の手順でインストールしてください。

### インストール手順（ネットワーク接続の場合）

✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

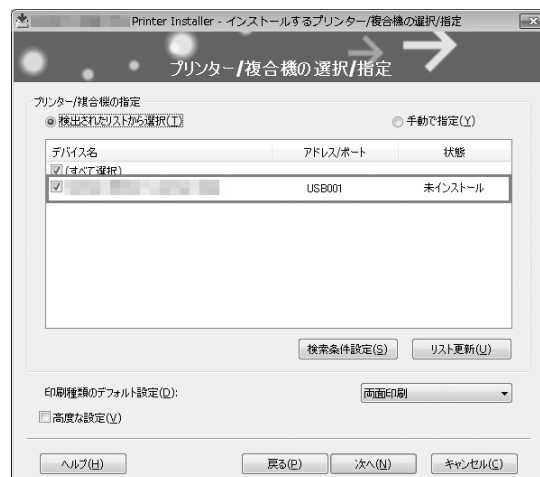
- 1 プリンタードライバーの DVD をコンピューターの DVD ドライブに入れます。
  - インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。
  - インストーラーが起動しない場合は、DVD 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて [Setup.exe] (32 ビット環境の場合) または [Setup64.exe] (64 ビット環境の場合) をダブルクリックし、手順 2 へ進みます。
  - [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- 2 [使用許諾契約書に同意します] にチェックをつけます。
- 3 [セットアップ内容の選択] で [プリンターのインストール] を選び、[次へ] をクリックします。接続されているプリンターが検出されます。
- 4 検出されたプリンターのリストから本機を選びます。
  - 本機が検出されない場合は、本機を再起動してください。
  - 接続されているプリンターのうち、対象機種だけを自動検出して表示します。複数台の対象機種が表示される場合は、IP アドレスを確認してください。本機の IP アドレスは、[設定メニュー] - [装置情報表示] をタップして表示される画面で確認できます。
  - 本機の接続が認識できないときは、リストに表示されません。この場合は、[手動で指定] を選び、手動で本機の IP アドレスやホスト名を指定してください。



- 5 必要に応じて、印刷種類の初期値の設定と、インストールするプリンタードライバーの種類を設定します。
  - インストールするプリンタードライバーの種類を設定する場合は、[高度な設定] にチェックをつけ、[インストールするコンポーネント] でインストールしたいプリンタードライバーにチェックをつけます。各プリンタードライバーの特長については、ユーザズガイドをごらんください。初期状態では、PCL ドライバーがインストールされます。
  - [印刷種類のデフォルト設定] で、両面印刷が初期値として設定されたドライバーをインストールするか、または片面印刷が初期値として設定されたドライバーをインストールするかを選択できます。初期状態では、両面印刷が初期値として設定されたドライバーがインストールされます。
- 6 [次へ] をクリックします。
- 7 インストール内容を確認し、[インストール] をクリックします。
- 8 必要に応じて、プリンター名の変更やテストページを印刷し、[完了] をクリックします。以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

### インストール手順 (USB 接続の場合)

- ✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。
- 1 本機の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。
    - ケーブルの接続箇所について詳しくは、ユーザズガイドをごらんください。
    - 新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックしてください。
  - 2 プリンタードライバーの DVD をコンピューターの DVD ドライブに入れます。
    - インストーラーが起動するのを確認し、手順 3 へ進みます。
    - インストーラーが起動しない場合は、DVD 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて [Setup.exe] (32 ビット環境の場合) または [Setup64.exe] (64 ビット環境の場合) をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。
    - [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。
  - 3 [使用許諾契約書に同意します] にチェックをつけます。
  - 4 [セットアップ内容の選択] で [プリンターのインストール] を選び、[次へ] をクリックします。接続されているプリンターが検出されます。
  - 5 検出されたプリンターのリストから本機を選びます。



- 6 必要に応じて、印刷種類の初期値の設定と、インストールするプリンタードライバーの種類を設定します。
  - インストールするプリンタードライバーの種類を設定する場合は、[高度な設定] にチェックをつけ、[インストールするコンポーネント] でインストールしたいプリンタードライバーにチェックをつけます。各プリンタードライバーの特長については、ユーザーズガイドをごらんください。初期状態では、PCL ドライバーがインストールされます。
  - [印刷種類のデフォルト設定] で、両面印刷が初期値として設定されたドライバーをインストールするか、または片面印刷が初期値として設定されたドライバーをインストールするかを選択できます。初期状態では、両面印刷が初期値として設定されたドライバーがインストールされます。
- 7 [次へ] をクリックします。
- 8 インストール内容を確認し、[インストール] をクリックします。
- 9 必要に応じて、プリンター名の変更やテストページを印刷し、[完了] をクリックします。  
以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

## 1.2 ファクスドライバーのインストールについて

新たな機能が追加された本機では、ファクスドライバーのインストール手順に変更があります。ファクスドライバーをインストールするときは、以下の手順でインストールしてください。

### インストール手順（ネットワーク接続の場合）

✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。

1 ファクスドライバーのDVDをコンピューターのDVDドライブに入れます。

→ インストーラーが起動するのを確認し、手順2へ進みます。

→ インストーラーが起動しない場合は、DVD内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて [Setup.exe] (32ビット環境の場合) または [Setup64.exe] (64ビット環境の場合) をダブルクリックし、手順2へ進みます。

→ [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。

2 [使用許諾契約書に同意します] にチェックをつけます。

3 [セットアップ内容の選択] で [プリンターのインストール] を選び、[次へ] をクリックします。接続されているプリンターが検出されます。

4 検出されたプリンターのリストから本機を選びます。

→ 本機が検出されない場合は、本機を再起動してください。

→ 接続されているプリンターのうち、対象機種だけを自動検出して表示します。複数台の対象機種が表示される場合は、IPアドレスで確認してください。本機のIPアドレスは、[設定メニュー] - [装置情報表示] をタップして表示される画面で確認できます。

→ 本機の接続が認識できないときは、リストに表示されません。この場合は、[手動で指定] を選び、手動で本機のIPアドレスやホスト名を指定してください。





- 5 [高度な設定] にチェックをつけ、[インストールするコンポーネント] で [FAX] にチェックがついていることを確認します。



- 6 [次へ] をクリックします。
- 7 インストール内容を確認し、[インストール] をクリックします。
- 8 必要に応じて、プリンター名の変更やテストページを印刷し、[完了] をクリックします。  
以上で、ファクスドライバーのインストールの完了です。

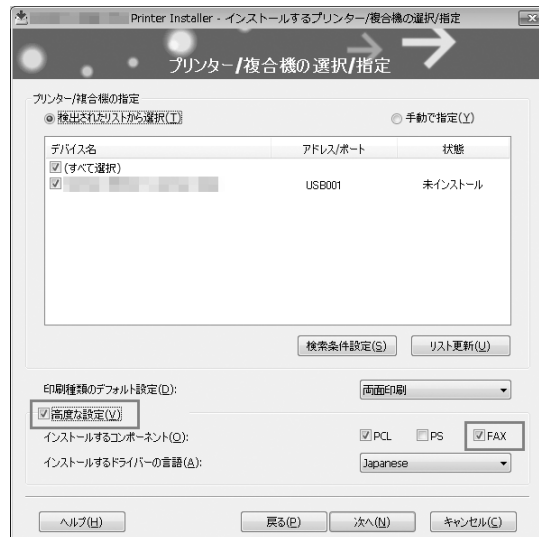
## インストール手順（USB 接続の場合）

- ✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。
- 1 本機の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。
    - ケーブルの接続箇所について詳しくは、ユーザーズガイドをごらんください。
    - 新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックしてください。
  - 2 ファクスドライバーの DVD をコンピューターの DVD ドライブに入れます。
    - インストーラーが起動するのを確認し、手順 3 へ進みます。
    - インストーラーが起動しない場合は、DVD 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて [Setup.exe] (32 ビット環境の場合) または [Setup64.exe] (64 ビット環境の場合) をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。
    - [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。
  - 3 [使用許諾契約書に同意します] にチェックをつけます。
  - 4 [セットアップ内容の選択] で [プリンターのインストール] を選び、[次へ] をクリックします。  
接続されているプリンターが検出されます。

- 5 検出されたプリンターのリストから本機を選びます。



- 6 [高度な設定] にチェックをつけ、[インストールするコンポーネント] で [FAX] にチェックがついていることを確認します。



- 7 [次へ] をクリックします。
- 8 インストール内容を確認し、[インストール] をクリックします。
- 9 必要に応じて、プリンター名の変更やテストページを印刷し、[完了] をクリックします。  
以上で、ファクスドライバーのインストールの完了です。

## 1.3 Windows 用プリンタードライバー／ファクスドライバーの削除について

新たな機能が追加された本機では、ドライバーの削除手順に変更があります。インストーラーを使ってドライバーを削除するときは、以下の手順で削除してください。

- ✓ この作業を行うには、コンピューターの管理者権限が必要です。
- 1 ドライバーのDVDをコンピューターのDVDドライブに入れます。
  - インストーラーが起動するのを確認し、手順2へ進みます。
  - インストーラーが起動しない場合は、DVD内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて [Setup.exe] (32ビット環境の場合) または [Setup64.exe] (64ビット環境の場合) をダブルクリックし、手順2へ進みます。
- 2 [使用許諾契約書に同意します] にチェックをつけます。
- 3 [セットアップ内容の選択] で [プリンタードライバーの削除] を選び、[次へ] をクリックします。
- 4 削除するドライバーを選び、[削除] をクリックします。
  - 以降は、表示される画面に従って操作してください。
- 5 再起動する画面が表示されたら [OK] をクリックし、コンピューターを再起動します。  
以上で、ドライバーの削除の完了です。

## 1.4 macOS 10.13 用プリンタードライバーについて

macOS 10.13 のプリンタードライバーのインストール方法、印刷機能、印刷のしかたについては、macOS 10.12 と同等です。ユーザズガイドの macOS 10.12 の記載を参考にご利用ください。

## 1.5 初期値の変更について

新たな機能が追加された本機では、初期値が変更になった設定があります。

初期値が変更になった具体的な設定については、以下のとおりです。

設定	説明
Web Connection の管理者モードの [ネットワーク] - [SMB 設定] - [クライアント設定] - [SMB 認証設定]	初期値が [NTML v1/v2] に変更になりました (ただし、ファームウェア更新で新機能に対応している場合は、初期値は [NTML v1] です)。
操作パネルの [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [SMB 設定] - [クライアント設定] - [SMB 認証設定]	
Web Connection の管理者モードの [セキュリティ] - [PKI 設定] - [SSL 使用設定] - [SSL/TLS バージョン設定]	[TLSv1.0] の初期値が OFF に変更になりました (ただし、ファームウェア更新で新機能に対応している場合は、初期値は ON です)。
Web Connection の管理者モードの [環境設定] - [Web ブラウザー設定] - [詳細設定] - [セキュリティ設定] - [使用する SSL バージョン]	[TLS1.0] の初期値が [無効] に変更になりました (ただし、ファームウェア更新で新機能に対応している場合は、初期値は [有効] です)。
操作パネルで Web ブラウザーを起動 - [メニュー] - [設定] - [セキュリティ設定] - [使用する SSL バージョン]	セキュリティレベルの [最低] の初期値が [TLS1.1] に変更になりました (ただし、ファームウェア更新で新機能に対応している場合は、初期値は [TLS1.0] です)。

## 1.6 Web ブラウザー機能について

### 1.6.1 Web ブラウザーの仕様

本機で使用する Web ブラウザーの仕様が変わりました。

主な仕様は、以下のとおりです。

項目	仕様
ブラウザエンジン	blink
プロトコル	HTTP(HTTP/1.1)、HTTPS、TCP/IP、WebSocket
マークアップ言語	HTML 4.01、HTML 5、XHTML 1.1/Basic
スタイルシート	CSS3.0
スクリプト言語	JavaScript 1.7、ECMAScript Edition 3/5/5.1、Ajax(Javascript のサポート内に限る)
DOM	Level 2、Level 3
ファイル形式	JPEG、BMP、PNG、GIF、アニメーション GIF、PDF
SSL/TLS バージョン	SSL 3.0、TLS 1.0/1.1/1.2
文字コード	日本語 (Shift_JIS)、日本語 (ISO-2022-JP)、日本語 (EUC-JP)、簡体字中国語 (GB18030-0)、繁体字中国語 (Big5)、西ヨーロッパ言語 (Windows-1252)、Unicode(UTF-8)
PDF 閲覧ソフトウェア	PDFium

## 1.6.2 Web ブラウザー機能でできなくなったこと

本機で使用する Web ブラウザーの仕様が変更になったことで、自分専用の Web ブラウザー設定 (My パネル) を使えなくなりました。

## 1.7 キーボードを選択する

タッチパネルに表示するキーボードの種類を選びます。

キーボードの選択は、操作パネルの [設定メニュー] - [ユーザー設定] - [環境設定] - [キーボード選択] で行います。

設定	説明
[キーボード初期設定]	タッチパネルで使用するキーボードの種類を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>[標準キーボード]: US ASCII 配列キーボードまたは JIS 配列キーボードを表示します。</li> <li>[各国キーボード]: 各言語に対応したキーボードを表示します。</li> </ul> 初期値は [標準キーボード] です。
[キーボードタイプ]	タッチパネルの Web ブラウザーで使用するキーボードを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>[タイプ 1]: タッチパネルで使用するキーボードを表示します。</li> <li>[タイプ 2]: ポップアップ形式のキーボードを表示します。</li> </ul> 初期値は [タイプ 2] です。



### 参考

- [キーボードタイプ] の [タイプ 2] のキーボードでは、日本語をローマ字で入力します。

## 1.8 ボックス文書のダウンロード時間を短縮する

Web Connection でボックス文書をダウンロードする時間を、短縮するための設定をします。

ボックス文書のダウンロード時間短縮の設定は、Web Connection の [ボックス] - [ボックス一覧] - [新規登録] - [ボックス拡張機能] で行います。

既存のボックスに対して設定する場合は、[ボックス] - [ボックス一覧] - [編集] - [ボックス拡張機能を変更する] で行います。

設定	説明
[ダウンロード時間優先設定]	ボックス文書のダウンロード時間短縮のための処理を有効にするかどうかを選びます。 初期値は [使用しない] です。



### 参考

- ボックス文書のダウンロード時間短縮の設定は、操作パネルの [設定メニュー] - [宛先 / ボックス登録] - [ボックス登録] - [共有 / 個人ボックス] で、ボックスを登録または編集するときに行うこともできます。
- 以下の種類の文書は、この設定の対象になりません。  
 コンピューターの印刷機能によりボックス保存された文書  
 外部メモリーからボックス保存された文書  
 Fコード機能の使用によりボックス保存された文書

## 1.9 共有ボックスの SMB フォルダ-内文書を削除する

SMB ファイル共有機能を使っている場合に、共有ボックスを介して SMB フォルダ-に保存したファイルを一括で削除します。

削除を行うには、**Web Connection** の管理者モードの [環境設定] - [ボックス設定] - [ダウンロードファイル削除] で、[OK] をクリックします。



### 参考

- 共有ボックスの SMB フォルダ-内文書の削除は、**操作パネル**の [設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [ボックス設定] - [SMB フォルダ-内全文書削除] で行うこともできます。
- 共有ボックスの SMB フォルダ-内文書を自動的に削除するには、**Web Connection** の管理者モードの [環境設定] - [ボックス設定] - [SMB フォルダ-内文書削除時間設定] で設定します。
- ボックス文書のダウンロード時間短縮機能を有効にしている場合は、共有ボックスの SMB フォルダ-内文書の削除を行うと、ダウンロード時間短縮用のファイルも同時に削除されます。



---

# 2

## ユーザーズガイドの記載訂正／ 変更について



## 2 ユーザーズガイドの記載訂正／変更について

### 2.1 [プリント] での訂正

「プリンタードライバーを使わずに印刷する」 - 「コンピューターから直接印刷する（ダイレクトプリント）」 - 「ダイレクトプリントについて」 および 「ダイレクトプリントのしかた」 の記載を、以下のとおり訂正いたします。

本機で印刷できるファイル形式について

誤	正
PDF(Ver.1.6)	PDF(Ver.1.5/1.6/1.7)

### 2.2 NFC 認証導入時の制約事項

（操作パネルの [設定メニュー] - [管理者設定] - [システム連携] - [モバイル連携設定] で [タッチ連携アプリ設定] が表示される機種のみ）

ユーザーズガイドを参考に、本機の操作パネルのモバイルタッチエリアを使って NFC 認証を行うための設定をするときは、以下の情報をあわせてご確認ください。

Android 端末に Mobile Print をインストールしていると、本機の [タッチ連携アプリ設定] で Mobile Print を選べないため、Mobile Print に本機を登録することはできません。

### 2.3 ライセンス文について

本機に含まれるソフトウェアコンポーネントのライセンス文を追加しました。

以下の Web サイトで確認できます。

<https://generic-products-bt.com/license/3742/>

